「算数チャレンジ大会(算チャレ)2017」予選問題の解答・解説

7

1 答え 18

5段目まで図があるので、実際に6段目まで 書いてみます。

書くことによって、規則性が見つけやすくなることも多いです。

1段目	1
2段目	2 3
3段目	4 5 6
4 段目	7 8 9 10
5段目	11 12 13 14 15
6 段目	- - 16

2 答え 11段目の左から10番目

実際に書いてもいいですが、番号が大きくなるとやはり面倒です。そこで、規則性を考えてみます。

一番左側の番号に目を付けます。規則性を見つけるときは、表をつくって数の増え方や減り方を見てみるとよいです。

段目	1	2	3	4	5	6	7	•	•	•	•	•
番号	1	2	4	7	11	16	22	•	•	•	•	•
	+1	+ 2	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	* \(\frac{1}{2} \)	* \(\tag{4} \)	↑	* 6	•	•	•	•	•

増え方に規則性が見つかったと思います。 8 段目はきっと 22+7=29 のはずです。 つまり、

2段目の番号は、1段目の番号に増える分の1を加えた番号 1+1=2

3段目の番号は、2段目の番号に増える分の2を加えた番号 2+2=4

つまり 1+1+2=4

4 段目の番号は、 1+1+2+3=7

5 段目の番号は, 1+1+2+3+4=11

6 段目の番号は、 1+1+2+3+4+5=16

というようになります。

つまり、 $1+1+2+3+\cdot\cdot\cdot+(\bigcirc$ 段目 $-1)=\bigcirc$ 段目の数 ということです。 例えば、10段目の番号だったら、

1+1+2+3+4+5+6+7+8+9=46 です。 ということは、

11段目の番号は、さらに10を加えた番号なので

46+10=56

12段目の数は、 56+11=67

このことから、65の番号は、11段目の左から10番目となります。

3 答え 5050枚

問題2で見つけた,規則性で考えてみましょう。 100段目の番号は

 $1+1+2+3+4+ \cdot \cdot \cdot \cdot + 99$ can be taken by the contract of the

ちょっと計算が面倒ですが,工夫して計算してみます。

例えば、1から10までたす計算

1+2+3+4+5+6+7+8+9+10

1+10, 2+9, 3+8, 4+7, 5+6 と考えて, $11\times5=5$ 5 と計算できます。 100 段目

これを使うと $1+100 \times \frac{99}{} = 4951$

$$1+100 \times \frac{99}{2} = 4951$$
 と計算できます。 $\frac{99}{2}$ の意味は考えてみてください。

3段目 -----

8

4段目 ----

100段目には全部で100枚のカードがありますから

答は 4951+99=5050

【別解1】

カードの枚数と番号は同じです。100段目を完成させるカードの枚数は、100段目の一番右側のカードの番号と同じになります。

一番右側のカードの番号の規則性を考えてみます。

<u> </u>	14	' Р	 - //	, 6, 1, 1, 1, 1, 1	_ , _	• , . ,	, 0	
段目	1	2	3	4	5	6		•
番号	1	3	6	10	15	21		• •
	+	∮	≯	<u> </u>	<u> </u>	<u></u>	I	 .

問題2と同じような規則性が見つかったと思います。

つまり、100段目の一番右側の番号は

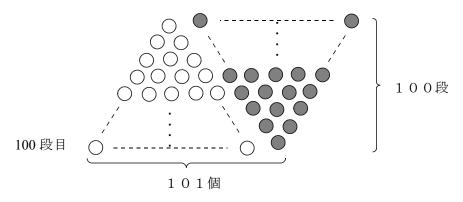
 $1+2+3+4+5+\cdot\cdot\cdot+100$ ということになります。

工夫して計算すると

 $1 \ 0 \ 1 \times 5 \ 0 = 5 \ 0 \ 5 \ 0$

【別解2】

カードを〇で表します。同じものを逆さにして合わせます。



 \bigcirc の個数は、 $101 \times 100 \div 2 = 5050$

【別解3】

カードを○で表します。半分の50段で分けて、上の50段分を逆さにして合わせます。

 \bigcirc の個数は, $101 \times 50 = 5050$